

専門考査の問題

問1 次の記述は、麻しんに関するものである。(1)～(10)にあてはまる語句を、下記の語群ア～ホの中から1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

麻しんは、麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症です。麻しんウイルスの感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、ヒトからヒトへ感染が伝播し、その感染力は非常に強いと言われており、有効な予防法は(1)です。

多くの(2)感染症は、(3)第12条第1項により、診断した医師は(4)以内に管轄の保健所に(5)するとされていますが、麻しんは、診断後(6)(5)するよう規定されています。

麻しんは毎年(7)にかけて流行が見られます。感染すると約(8)後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れます。2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と

(9)が出現します。肺炎、中耳炎を合併しやすく、脳炎や死亡例もあります。まれに、麻しんウイルスに感染後、特に学童期に(10)と呼ばれる中枢神経疾患を発症することもあります。

【語群】

ア：ない	イ：7日	ウ：発疹	エ：20日
オ：コプリック斑	カ：冬から春	キ：5類	ク：脊髄小脳変性症(SCD)
ケ：予防接種	コ：遅滞なく	サ：報告	シ：マスク
ス：感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律			
セ：5日	ソ：届出	タ：隔離	
チ：速やかに	ツ：春から初夏	テ：カタル症状	ト：2日
ナ：地域保健法	ニ：直ちに	ヌ：進行性核上性麻痺(PSPP)	
ネ：4類	ノ：秋から冬	ハ：医師法	ヒ：10日
フ：3類	ヘ：14日	ホ：亜急性硬化性全脳炎(SSPE)	

問2 我が国の母子保健活動に関する次の(1)及び(2)の問いに答えなさい。

- (1)「健やか親子21」は、母子の健康水準を向上させるための様々な取組をみんなで推進する国民運動計画で、平成27年度から第二次計画がスタートしている。そこで、「健やか親子21(第2次)」に掲げられている母子保健を取り巻く状況を3つ記述しなさい。
- (2)「健やか親子21(第2次)」では、現在の母子保健を取り巻く状況を踏まえ、基盤課題の一つとして「切れ目ない妊産婦・乳幼児への保健対策」、重点課題の一つとして「妊娠期からの児童虐待防止対策」が設定されている。そこで、市町村における母子保健活動の中で、「妊娠の届出と母子健康手帳の交付」に関し、根拠となる法律と規定内容を記述した上で、切れ目のない支援の視点、児童虐待防止の視点でその特徴を記述しなさい。

問3 次の記述は、「地域保健法」(昭和22年法律101号)の「第一章 総則」の一部を抜粋したものである。(1)～(5)に当てはまる語句を、解答欄に記入しなさい。

第二条 地域住民の(1)及び増進を目的として国及び(2)が講ずる施策は、我が国における急速な高齢化の進展、保健医療を取り巻く環境の変化等に即応し、地域における(3)の向上及び増進を図るとともに、地域住民の多様化し、かつ、高度化する保健、衛生、生活環境等に関する需要に適確に対応することができるように、(4)の特性及び社会福祉等の関連施策との有機的な連携に配慮しつつ、総合的に推進されることを(5)とする。

問4 次の(1)～(3)の語句について、それぞれ簡潔に記述しなさい。

- (1) (結核患者に対する) DOTS
- (2) (精神保健分野における) ゲートキーパー
- (3) DPAT

問5 以下の事例について初回訪問をするにあたり、事前準備する内容、訪問時に情報収集すべき内容を記述しなさい。また、この事例に関わらず、訪問実施時に対象者との関わりにおいて留意すべき事項について記述しなさい。

<事例>

Aさん、65歳男性。診断名はALS(筋萎縮性側索硬化症)。

Aさんは、難病法に基づく医療費助成の申請のため、初めて保健所に夫婦で訪れた。窓口で申請の事務手続きの後、保健師が初回面接を行った。当日は面接時間が少なく、状況の把握が十分にできなかったこと及び今後の支援のため、家庭訪問することを約束した。